

「パラナイバ養護学校通学用バス整備計画」署名式



ピニエロ会長と西林総領事

2007年3月12日、当館において、当館とカシランジア障害者を支える親と友の会（APAE）との間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する贈与契約署名式が行われ、西林万寿夫総領事、同市のアナ・マリア・フェヘイラ・ピニエロ会長他関係者1名が出席しました。

署名式において、西林総領事は、「今般の協力により生徒達が安全に通学できることを期待している」と挨拶しました。



ピニエロ会長夫妻に囲まれる
西林総領事及び田畑副領事

ピニエロ会長の代理として出席した夫のアントニオ・ピニエロ氏は「日本国民の寛大な協力のおかげで当団体の夢を実現することができる。パラナイバAPAEのボランティアの人たちも友愛での心を持って活動しており、施設で預かっている120名の生徒は毎日の送迎を必要としている」旨謝意を述べた。

案件名：パラナイバ養護学校通学用バス整備計画

被供与団体：パラナイバ 障害者を支える親と友の会（APAE）

プロジェクト実施地：南マト・グロッソ州パラナイバ市

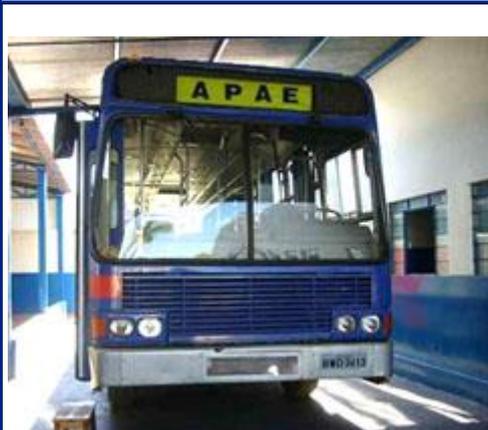
契約署名日：2007年3月12日

供与限度額：90,090米ドル

案件概要：パラナイバAPAEは1980年に設立され、現在120名の身体・知的障害者が通学している。生徒は92年型の所有バスで搬送されているが、故障が多く、生徒が通学できないこともある。バスには車椅子昇降機やシートベルトも取り付けられていなく、安全面の問題が生じている。

この度の我が国の無償資金協力により、搬送用バスを購入することで、生徒が安全に通学出来るようになる。

供与品目：車椅子昇降機付の大型バス



92年型の所有バス



車椅子昇降機が存在しないため、
生徒は職員に抱かれて